

## 特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク(FUNN) 2010 年度活動報告



▲初の開催となったステップアップセミナー



▲鹿児島にて NGO 相談に応じる

### 概観

NGO や市民活動全般の支援という団体の活動に変わりはなく、そのための活動内容について、引き続き、活動の拡充と組織基盤の整備がお互いに好循環を生むことをめざして活動を行った。2010 年度の成果としては鹿児島及び熊本への出張相談の実施、加盟団体の能力向上を目的とした「セーフトラベルセミナー」と「ステップアップセミナー」の開催が挙げられる。さらには新規リーフレットの作成により、以前よりFUNNの活動をよりわかりやすく理解できるものが出来たのは大きな成果だと言える。

2010 年度は県外の NGO や国際協力活動団体とのつながりや新規リーフレットの作成により、次年度に向けてのネットワークの構築が出来た年であった。

### 個別報告もくじ

#### <活動部分>

- 1) 国際協力に関する情報・学習機会の提供
- 2) NGOの活動や運営に関する支援
- 3) 国際協力に関する調査・提言
- 4) NGO活動に関する人財育成
- 5) NGO間および各種団体との連携促進

#### <組織運営部分>

- 1) 組織体制と運営
- 2) 組織基盤整備

## 個別報告

### <活動部分>

#### 1. 国際協力に関する情報・学習機会の提供(市民に対して)

2010年度は裾野の拡大のため、より広く多様な層へのアクセスをめざし、より多く情報・学習機会の場の設定を行なうこと、さらには昨年度来の新規企画の定着を目的とし、活動をおこなった。10年度の新たな活動としては、鹿児島及び熊本への出張相談の実施、加盟団体の能力向上を目的とした「ステップアップセミナー」の開催、新規リーフレットの作成を行った。相談件数としては下記の通りとなったが、県外の NGO や国際協力活動団体とのつながりや新規リーフレットの作成により、今後の相談者増加のための活動が出来たと思われる。

#### ■ NGO相談

年度を通して市民からのNGO、国際協力に関する相談業務を行う(火～土 13:00～18:00)。

外務省NGO活動環境整備支援事業『NGO相談員』を受託し(2010年5月20日～2011年3月31日)、相談業務を行った。NGO相談員が5月20日からということもあり、相談件数は昨年度より35件少ない537件となった。しかし11月と3月に鹿児島や熊本へ出張相談に行ったこともあり、11月は47件、3月は26件と昨年度より増加した。

なお NGO 相談員連絡会議は 2 回開かれ、それぞれ原田が参加した(1回目:6/18-19 東京都。2回目:12/13-14 兵庫)。

日にち	企画名	主催者/依頼者	場所	相談員
7/3	東アジア移住共生映画祭	東アジア移住共生映画祭 北九州実行委員会	九州国際大学KIUホール	原田君子 本田正之
7/2	西南学院大学	西南学院大学国際関係法 学科岩間徹教授	西南学院大学1号館702 教室	高松千博
8/8	九州国際大学オープンキャンパス	九州国際大学国際関係学 部	九州国際大学3号館330 教室	原田君子 本田正之
11/6-7	国際協カフェスタ 地球市民どんたく2010	地球市民どんたく2010 実行委員会	福岡アクロス福岡2階交 流ギャラリー	原田君子 本田正之
11/28	かごしま国際交流フェスティバル	JICA デスク鹿児島/(財) 鹿児島県国際交流協会	かごしま県民交流センター 大ホール	高松千博 本田正之
2/12-13	あすみんフェア2011	福岡市NPO・ボランティア 交流センター	福岡市NPO・ボランティア 交流センター「あすみん」	原田君子 本田正之
2/26	北九州ソーシャルビジネスメッセ2011	北九州ソーシャルビジネス 実行委員会	西日本総合展示場AIM 3階G展示	原田君子 本田正之
3/26-27	熊本SAKURA祭	財団法人熊本市国際交流 振興事業団	熊本国際交流会館	大里綾 多原真美



▲九州国際大学オープンキャンパス



▲かごしま国際交流フェスティバル



▲熊本SAKURA祭

## ■ 各種企画

### ◆ NGOカレッジ

今年度も NGO や国際協力に関心のある人、これから関わりたいと考えている人を対象に、私達の生活と世界の問題を結ぶ内容の連続講座を実施した。さらに今年度の特徴として、個人や組織で活動するための具体的な方法の提示・実際に行動してもらうまでを取り入れた「お試し NGO2010 ボラタン」という制度を実施した。NGO カレッジ参加人数は前年度の 38 名から 109 名に増加した。ボラタンの参加人数は下記参照。

回・日時	テーマ・場所	講師
第1回 11月13日(土) 14:00~17:00	「貧困の裏側 ～生きることの光と闇～」 福岡県中小企業振興センター(202会議室)	講師:石井光太(作家) ファシリテーター:加留部貴行(九州大学大学院特任准教授)
第2回 11月20日(土) 14:00~17:00	「地球とお金の不平等」 福岡アジア美術館あじびホール	講師:三本裕子(国際青年環境NGO A SEED JAPAN 事務局長)
第2回 11月27日(土) 14:00~17:00	「ふみだせ!現場への第一歩~情熱オヤジのちょっといい話~」 福岡アジア美術館あじびホール	講師:小田哲也(国際緊急援助隊医療チーム医療調整員)
■後援:福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡国際交流協会、(財)福岡県国際交流センター、独立行政法人国際協力機構、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」 ■協力:(特活)明日のカンボジアを考える会、インドネシアの子供の教育を救う会、ACE福岡グループ、カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)、くるんて〜ぶの会、NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク、認定NPO法人地球市民の会、(特活)バングラデシュと手をつなぐ会 ■資金助成:財団法人 福岡県国際交流センター「国際化推進活動助成金」		

### ◆お試し NGO2010 ボラタン

■参加・協力団体:(特活)明日のカンボジアを考える会、インドネシアの子供の教育を救う会、ACE福岡グループ、カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)、くるんて〜ぶの会、NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク、認定NPO法人地球市民の会、(特活)バングラデシュと手をつなぐ会

※(特活)明日のカンボジアを考える会と(特活)バングラデシュと手をつなぐ会ではボラタン活動は実施されなかった。

■参加者人数:16人(申し込み時)/10人(修了者)



▲NGO カレッジ(1回目)の様子



▲NGO カレッジ(3回目)の様子



▲発表を行うボラタン

### ■ボラタン報告会~任務完了式~

3月26日(土)に、ボラタン活動発表会である報告会を行い、5名のボラタンが報告を行った。その後、修了証書を授与する修了式も行った。



▲NGO 戦士ボラタン5(ボラタンキャラクター)

### ◆ 倶楽部 FUNN

学習と交流を兼ねた会を月1回毎月実施した。今年度も様々な講師の方に来ていただき、参加者と共に普段聞くことの出来ない話を聞くことができ、交流を深めることが出来た。実施内容は以下である。

日にち	タイトル	講師	場所
4/2	「ハイチ大地震における緊急医療支援と現地の現状」	小田哲也 (NPO法人箱崎自由学舎 ESPERANZA)	びおとーぷ
5/14	「学生が行う国際協力のススメ」	RICK、Table For Two 九大、FIWC 九州、アフリカくらぶ	同上
6/4	「アムネスティインターナショナル福岡グループの活動について」	吾郷成子 (日本語教師)	同上
7/2	「岩塩や重曹を使って内モンゴルの砂漠を緑に戻そう」 ～青年海外協力隊経験を活かして社会起業家へ～	坂本毅 (有限会社バンベン代表)	同上
8/6	「タイ駐在記者が見た、タイという国の真実」	柴田建哉 (西日本新聞社)	同上
9/3	「NGO 向け JICA 支援事業の紹介と現地活動事例紹介」	中森あゆみ (独立行政法人国際協力機構九州国際センター市民参加協力課)	同上
10/1	「バングラデシュと手をつなぐ会スタツア報告～村の人々と共に歩んだ 20 年の歴史～」	二ノ坂保喜 ((特活)バングラデシュと手をつなぐ会代表)	同上
11/5	「たこ焼きひとつに願いをこめて ～カンボジア訪問から見たこと～」	井上昭子 (たこ焼・回転焼 たこ姫福店長)	同上
12/17	「灼熱のアフリカ・ザンビアにおける活動報告～エイズ孤児との出会い・交流を中心に～」	高松千博 (Save the African children 代表)	同上
1/7	「自由学校から見た沖縄人の思い」	大山英明 (PP21 ふくおか自由学校)	同上
2/4	「はたらくこどもー児童労働についてー」	AGE 福岡グループ	同上
3/4	「女学生のタイ訪問記」	福岡女学院大学の学生	同上

#### ◆ NGO 入門講座

国際協力の分野で活動するNGOについて知りたい、関わるきっかけが欲しいという人を対象にした入門講座を4月から10月まで行なった。参加者は計20人。

▶入門講座の様子



#### ◆ ファシリテーター養成講座

→ステップアップセミナーと改名して実施。

活動計画に記載していたファシリテーター養成講座の内容である「ファシリテーション」に団体のニーズ調査より必要と感じた「人材」という二本の柱で、「実際に使えるセミナー」をコンセプトに実施した。参加者は21人であったが、アンケートによる評価は高く、今後も実施してほしいという意見もいただけた。実施内容は以下の通りである。

▶ステップアップセミナーの様子



日時・場所	テーマ	講師
2月20日(日) 福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」セミナールーム	セミナー① “人を見つける”“人を育てる”とは？ ～ファシリテーションを活かした人材発掘・開発について学ぼう～	加留部貴行(九州大学大学院特任准教授)
	セミナー② “使える”ファシリテーションを学ぼう	
	セミナー③ 団体のお悩み相談を通して今日の振り返りをしよう！	今村晃章(NPO 法人 NPO 九州)

## ◆災害ボランティア基礎研修

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」被災地への支援活動を考えている方々を対象とした、災害ボランティア基礎研修をNPO法人NPO九州と共催で開催した。2日間で合計約200名の方にご参加いただいた。

日時・場所	テーマ	講師
3月27日(日) 10:00~12:00 14:00~16:00 福岡県吉塚合同庁舎 803会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアの役割と心構え</li> <li>・被災地での活動に対する準備</li> <li>・被災地でのボランティア活動の現状</li> <li>・福岡のできる支援活動の内容</li> </ul>	加留部貴行(九州大学大学院特任准教授) 今村晃章(NPO法人NPO九州)

## ■ 他団体企画参加

今年度は毎年参加している地球市民どんたくやハートフルフェスタなどのイベントのほか、県外のイベントに参加するなど積極的な他団体企画への参加を実施した。

日にち	企画名	主催者/依頼者	場所	FUNN 参加内容
7/3	東アジア移住共生映画祭	東アジア移住共生映画祭北九州実行委員会	九州国際大学 KIUホール	映画上映・ブース出展・個別相談対応
10/10	ハートフルフェスタ	ハートフルフェスタ福岡実行委員会	福岡市役所西側ふれあい広場	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応・フリーマーケット出展
11/6-7	国際協力フェスタ 地球市民どんたく2010	地球市民どんたく2010実行委員会	福岡アクロス福岡2階交流ギャラリー	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応
11/22	ふくおか協働ひろば「交流会」	福岡県	エルガーラホール	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応
11/28	かごしま国際交流フェスティバル	JICA デスク鹿児島/(財)鹿児島県国際交流協会	かごしま県民交流センター大ホール	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応
2/12-13	あすみんフェア2011	福岡市NPO・ボランティア交流センター	福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応
2/26-27	北九州ソーシャルビジネスメッセ2011	北九州ソーシャルビジネス実行委員会	西日本総合展示場 AIM3階G展示	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応
3/20	WTO・FTA フォーラム	第17回WTO・FTAフォーラム in 福岡実行委員会	福岡県中小企業振興センター	支援・協力
3/26-27	熊本SAKURA祭り	財団法人熊本市国際交流振興事業団	熊本国際交流会館	ブース出展・活動紹介・NGO相談対応

## ■ 講師派遣

学校での総合学習の授業や市民・他団体の取組・企画に積極的に講師(役員・会員団体関係者・職員など)を派遣した。

日にち	企画・授業名	主催者	場所	講演者
11/11	国際理解学習	壱岐中学校	壱岐中学校	(特活)バングラデシュと手をつなぐ会/Save the African Children/(特活)エスペランサ/フレンズ国際ワークキャンプ九州/(特活)ソルト・パヤタス/認定NPO法人地球市民の会
11/12	国際協力実践論Ⅱ	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	ネパール歯科医療協力会
12/3	国際協力実践論Ⅱ	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	AIM国際ボランティアを育てる会
12/17	国際協力実践論Ⅱ	九州国際大学国際	九州国際大学	カンボジア地雷撤去キャンペーン

		関係学部		
12/24	国際協力実践論Ⅱ	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	(特活)NGO 福岡ネットワーク
1/17	「私から広げよう人権の輪」	福岡市立内浜小学校	福岡市立内浜小学校	(特活)バングラデシュと手をつなぐ会
2/3	「生き方・進路調べ学習」の一環	内浜中学校	内浜中学校	(特活)NGO 福岡ネットワーク/ (特活)ソルト・パヤタス

## ■ 広報

「より広く、より分かりやすく」を心がけ、積極的に広報活動に取り組んだ。今年度の一番の成果としてはリーフレットの新規作成が出来たことである。以前までのリーフレットの内容に加え、FUNN の活動をよりわかりやすく伝えることの出来るものとなった。

### ◆ 国際協力ニュース

FUNNのニューズレターである『国際協力ニュース』を年6回、隔月700部発行、会員、関係団体に約200部送付、公共機関への設置、講座・イベントなどで配布した。

### ◆ FUNN紹介リーフレット

FUNN紹介のリーフレットについて、新規作成し、会員・関係団体への送付、公共機関への設置依頼、講座・イベントなどでの配布を随時行った。

### ◆ メルマガ・ウェブサイト・メールでの発信

メルマガは隔週、ウェブ(FUNN およびイーココロなど)・メール・チラシなどは随時、イベントや各種情報を配信した。より読みやすい・わかりやすい情報配信・ウェブ掲載を心がけた。

## 2. NGOの活動や運営に関する支援(会員団体などに対して)

今年度も広く市民を対象とした活動とならんで、会員団体を含むNGOを対象とした活動・運営支援に取り組んだ。今年度の特徴としては加盟団体の能力向上支援のための「セーフトラベルセミナー」「ステップアップセミナー」の開催を行った。

### ■ 広報活動の支援

ウェブページ、機関誌、メルマガなどによる加盟NGO団体の情報発信を行なった。

### ■ 情報提供や人材紹介

NGO関連情報や助成金情報提供、人材・ボランティア紹介などを行なった。

### ■ 能力向上支援

NGOの能力向上支援として、セミナー開催・受け入れ実施などを行なった。

#### ◆ セーフ・トラベル・セミナー

初の試みとして、加盟団体や大学教員などを対象に、海外へのツアーを企画する際の危機管理について学ぶセミナーを開催する。5月1日(土)に実施。6団体8人が参加。

▶セーフ・トラベル・セミナーの様子



### ■ 共同イベントの実施

#### ◆ NGO 海外スタディツアー合同説明会

FUNN正会員6団体と呼びかけに応じて参加した外部1団体がブース

を出展し、一般参加者に各団体のスタディツアーを説明する合同説明会を6月12日に開催した。またブース出展・説明の前には、原田君子さん(くるんて〜ぷの会代表)にスタディツアーとは何か?と題したお話をいただいた。参加者数は約36名。会場は福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」。

▶合同説明会の様子



### 3. 国際協力に関する調査・提言(政府、地方自治体などに対して)

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組んだ。

#### ■政策提言委員会

今年度の政策提言委員会の活動は休止とした。また、FUNNとしての政策提言活動のあり方や政策提言委員会の活動について、FUNN理事を中心としたワーキンググループを設置し、活動の検討を行ったが、具体的な活動には至らなかった。

#### ◆「ODA政策協議会」参加

今年度の参加は見送った。

### 4. NGO活動に関する人財育成(市民に対して)

裾野の拡大・組織基盤整備のために積極的に活動に取り組んだ。

#### ■インターン

大淵絵斗(10年1月～11年1月)、大里綾(10年1月～)、マイテ・ティーデマン(10年6月～10年7月)、古屋友理(10年8月～10年9月)、木下智子(11年3月～)、中村美香(11年3月～)、シュビット・ウルリケ(11年3月～)

#### ■ボランティア

ボランティアで活動協力を希望する人を登録し、随時ボランティア情報等を提供した。2010年度は70名程度が情報提供希望者として登録された。

### 5. NGO間及び各種団体との連携促進

ネットワークNGOとして、積極的に連携促進に取り組んだ。

#### ■倶楽部 FUNN

上記1)参照。

#### ■地域ネットワーク活動

福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」、福岡国際関係団体連絡会(FUKU—NET)、福岡市人権啓発センター、福岡県国際交流センター、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図った。

## ■地域ネットワーク NGO 調整会議

今年度は開催されなかった。

## ■「動く→動かす(GCAP Japan)」

「世界から貧困をなくそう」「ミレニアム開発目標を達成しよう」という声を政策提言やキャンペーンにかしていくために設立された NGO のネットワークにフレンズ会員として参加し、「STAND UP TAKE ACTION」の活動等に参加した。

## ■新年会

会員・関係者・役員・職員・インターン・ボランティアが集う恒例行事を 1 月 23 日(日)に実施した。

## ■外務省主催平成 22 年度 NGO 研究会「自律的なネットワーク NGO・NPO の経営」

外務省主催平成 22 年度 NGO 研究会「自律的なネットワーク NGO・NPO の経営」に協力(事務局:(特活)国際協力 NGO センター)。ファンドレイジングをテーマにしたシンポジウムに向け、地域のネットワーク NGO として分析に協力、発表を行った。

▶研究会での発表の様子



### <組織運営部分>

#### 1) 組織体制と運営

組織運営の基本となる、通常総会(正会員団体に表決権)を 2010 年 5 月 30 日(日)、中期計画承認のための臨時総会を福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室にて実施、理事会は通常理事会を月 1 回、実施した。また職員による事務局会議を毎週 1 回実施した。円滑な組織運営のための意思疎通・意思決定を心がけた。

加えて、特に専門性や多くの実務が必要となる特定業務・企画については、引き続き専門委員会を設置し(NGOカレッジ委員会、中期将来計画委員会(下記 2)参照)、事務局や理事会との連携を円滑に図りながら、運営を行なっていた。担当理事はそれぞれ、岡陸徳・藤井大輔、高松千博。

なお、10 年度の組織体制と会員は以下のとおり。

◇代表:ニノ坂保喜((特活)バングラデシュと手をつなぐ会)
◇副代表:津島朋憲(NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク)/藤井大輔(債務と貧困を考えるジュビリー九州)
理事:岩下奈未(フレンズ国際ワークキャンプ九州)/大谷賢二(カンボジア地雷撤去キャンペーン)/岡陸徳(JVC九州ネットワーク)/高橋良輔(佐賀大学)/高松千博(Save the African Children)/瀧本昌平(債務と貧困を考えるジュビリー九州)/原田君子(くるんて〜ぷの会)/吉本美貴(NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク)/ラフマン・モクレスール((特活)バングラデシュと手をつなぐ会)
◇監事:安部昌明((特活)明日のカンボジアを考える会)
◇事務局長:原田君子
◇事務局員:本田正之・高松千博・多原真美
◇インターン:大淵絵斗(10 年 1 月~11 年 1 月)、大里綾(10 年 1 月~)、マイテ・ティーデマン(10 年 6 月~10 年 7 月) 古屋友理(10 年 8 月~10 年 9 月)、木下智子(11 年 3 月~)、中村美香(11 年 3 月~)、シュビット・ウルリケ(11 年 3 月~)
◇正会員団体(全 24 団体):アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム(FNA)/(特活)アジア女性センター/(特活)明日のカンボジアを考える会/アフリカくらぶ/インドネシアの子供の教育を救う会/認定 NPO 法人 ACE/(特活)エスペランサ/カンボジア地雷撤去キャンペーン/くるんて〜ぷの会/子どもの性と命の教育コミッティ(GESA)/コミュニティ コミュニケーション・サポートセンター(Commu)/債務と貧困を考えるジュビリー九州/JVC九州ネットワーク/Save the African Children/(特活)ソルト・パヤタス/認定 NPO 法人地球市民の会/NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク/(特活)NICE/ネパール歯科医療協力会(ADCN)/(特活)バングラデシュと手をつなぐ会/バングラディシュピルガゾン村診療所実行委員会/PP21 ふくおか自由学校/(財)福岡 YMCA/フレンズ国際ワークキャンプ九州(FWC 九州)
◇個人会員:賛助会員(個人) 11 名。賛助会員(団体) 0。通信会員 31 名。



## 2) 組織基盤整備

組織基盤整備と活動拡充がお互いに好循環を生むように、組織基盤整備にも積極的に取り組んだ。

### ■ 会員・インターン・ボランティアの増加

新規会員団体・個人会員の増員をはかった。正会員団体:2 団体増。インターン・ボランティアの増加を図った(インターン:常時2名。ボランティア:登録人数70名程度増)(上記「人材育成」報告参照)。

### ■ 財源の確保(助成金・業務委託金・会費・事業収入・寄付金などの獲得)

- ・外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」
- ・財団法人 福岡県国際交流センター「国際化推進活動助成金」
- ・財団法人 日本国際協力システム(JICS)「平成 22 年度 NGO 支援事業」
- ・活動拡充と広報・働きかけなどによる寄付金増加(宗教法人真如苑)

### ■ 活動・職場環境整備

ボランティアの人も含めて多くの人が集い、楽しく活動ができるような環境作りを心がけた。個別の取り組みとしては以下のものを行った。

### ◆ 職員の福利厚生

健康保険・厚生年金保険、労災保険および雇用保険に引き続き加入した。

### ■ 中期計画の策定

持続的な運営と発展のために、中期将来計画委員会を設置し、2011 年～2013 年の 3 年間の中期計画を策定した。委員長兼担当理事:高松千博。

以上